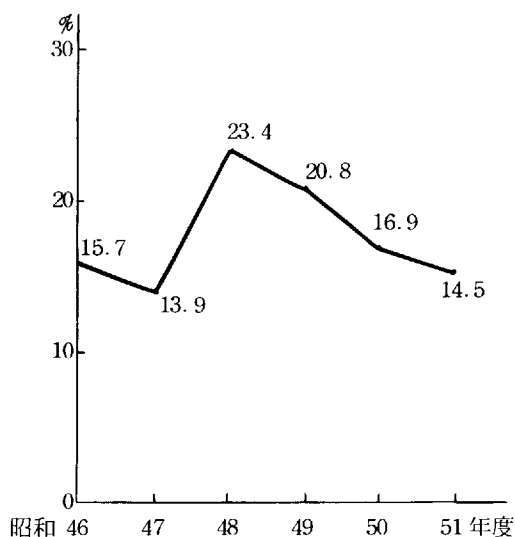


図 2-2-25 校舎保有総面積に対する危険面積比率



注：1. 「公立学校建物の実態調査報告」(昭46～昭51)による。
2. 比率 = (危険面積) ÷ (保有総面積) × 100

次に、危険面積に対する要改築面積の比率をみると、昭和47年度に70.0%と最も低く、昭和48年度には、前年度よりかなり高くなり、それ以降ほぼ横ばい状態で推移する。

小学校における標準学級数に対する普通教室の保有状況をみると、表2-2-10のとおり、学校の保有する普通教室数が標準学級数に等しい学校が最も多く、小学校全体の52.3%である。普通教室数が標準学級数より多い学校は34.7%である。

従って、小学校全体の87.0%の学校は標準

表 2-2-9 木造面積に対する危険面積比率及び危険面積に対する要改築面積比率 (単位：㎡, %)

項目 年度	校			舎	
	木造面積 ①	危険面積 ②	比率 ②/①	要改築面積 ③	比率 ③/②
46	885,979	199,905	22.6	149,815	74.9
47	841,562	177,973	21.1	124,625	70.0
48	792,756	303,676	38.3	253,991	83.6
49	742,997 (835,910)	265,648	31.8	225,231	84.8
50	710,318 (799,139)	216,832	30.5	204,131	83.7
51	674,648 (759,019)	186,931	27.7	173,946	82.7

注：1. 「公立学校建物の実態調査報告」(昭46～昭51)による。
2. 木造面積のかっこ内の数は、鉄筋換算面積である。

表 2-2-10 標準学級数に対する普通教室保有状況 (単位：校, %)

項目 地域	学校数	普通教室数が標準学級数より不足する学校		普通教室数が標準学級数に等しい学校		普通教室数が標準学級数より多い学校	
		学校数に対する左の比率	比率	学校数に対する左の比率	比率		
県北	129	16	12.4	60	46.5	53	41.1
県中	163	16	9.8	70	43.0	77	47.2
県南	62	3	4.9	41	66.1	18	29.0
会津	162	16	9.9	95	58.6	51	31.5
南会津	33	4	12.1	23	69.9	6	18.2
相双	64	14	21.9	24	37.5	26	40.6
いわき	79	21	26.6	49	62.0	9	11.4
県全体	692	90	13.0	362	52.3	240	34.7

注：「公立学校建物の実態調査報告」(昭46～昭51)による。

表 2-2-11 標準学級数に対する普通教室保有状況 (単位：校, %)

項目 区分	学校数	普通教室数が標準学級数より不足する学校		普通教室数が標準学級数に等しい学校		普通教室数が標準学級数より多い学校	
		学校数に対する左の比率	比率	学校数に対する左の比率	比率		
市部	270	55	20.4	129	47.8	86	31.8
郡部	422	35	8.3	233	55.2	154	36.5
県全体	692	90	13.0	362	52.3	240	34.7

注：1. 「公立学校建物の実態調査報告」(昭51)による。
2. 郡部とは、福島市他9市を除く町村である。
3. 学校には、分校を含む。